



# 救急医療 情報キット を配付します

市は、市内在住で一人暮らしをしている65歳以上の人の安全・安心を確保するため、希望者に救急医療情報キットの無料配付を行います。

## 救急医療情報キットとは

対象者のかかりつけ医療機関や持病といった、救急時に必要と思われる情報を記入した「救急情報用紙」を専用容器に入れ、自宅の冷蔵庫に保管。万一のときには、駆け付けた救急隊員が冷蔵庫からキットを取り出し、その情報を救急活動に活用するというものです。

冷蔵庫は、どの家庭にもあるので見つけやすいという利点があります。また、個人情報の観点から冷蔵庫の中なら外部の目につきにくいので、保管するのに適しています。

## 救急医療情報キットに入れる主なもの

- 救急情報用紙
- 健康保険証（写し）
- 薬剤情報提供書（写し）、お薬手帳（写し）

## 申込方法

平成22年6月1日現在で65歳以上の一人暮らしの人には民生委員が配付します。

その後、該当となる人は、所定の申出書に必要事項を記入の上、福祉課高齢福祉係、各地域局地域振興課住民福祉係、各地域市民センターに提出してください。その場で配付します。

本人が窓口に来られない場合には、代理でも構いません。

## ■問い合わせ

福祉課高齢福祉係 (☎②0265)

**物部 侑吾 議員（備中）**  
◎備中町平川からのバスは朝・昼・晩に各1便ずつ3便しかないため、送迎する親も大変で困っている。増便できないか。



**教育長** 現在、市内のバスの収支率は5割を切っている。バスの増便は赤字を増加させることになる。実情は十分理解しているが、バスの増便は難しい。  
児童・生徒の全国大会などには交通費や宿泊費を助成している。中学校部活動の公式戦にも市マイクロバスを利用できるよ

部活動に力を入れていているが、練習試合に行くたびに多額の遠征費用がかかる。手厚い補助をお願いしたい。



お礼のあいさつをする岡本克幸議長（成羽）

■問い合わせ 学校教育課指導係 (☎②1509)、企画課公聴広報係 (☎②0210)

うにしているが、練習試合については財政的に難しい。



**市長** 市の観光活性化については、歴史・伝統文化を活かしたまちづくりを進め、交流人口を増やしていきたい。  
風ぐるまフェスタは地元の皆さんが、手づくりでやっていることと話し合っていて、今年の内容になった。皆さんの活動を見守りたい。

◎有漢インターチェンジが無料化になったことで、有漢の常山公園や備中松山城などの観光客が増えるのではないかと期待しているが、有漢を代表するイベント「風ぐるまフェスタ」が今年から規模縮小し、場所もインターチェンジから遠い有漢地域局周辺になったのが残念。観光活性化につなげられないのか。

平田 幹央 議員（有漢）



**西林 まどか 議員（成羽）**  
◎市の人口が減少するのは、若い人が都会に出ていくことが一番の原因だと思う。

私は、市の文化や自然、食べ物などをもっとPRしていけばいいと思うが、市はどのような対策を考えているのか。また、私に何かできることはないか。

**市長** 住みやすいまちと思われよう環境づくりを目指し、これからも定住施策などいろいろな施策に取り組んでいきたい。これからは高梁のことを思い、しっかりと勉強し、多くの人に高梁の良さを伝えてほしい。



◎成羽中学校付近の道路が狭いため、登下校の際、車と生徒との距離が短く大変危険である。広くすることはできないか。  
5月の大雨で中学校近くの堤防の道路が一部崩れている。危険なので早く直してほしい。

土田 英里加 議員（成羽）



**市長** 大変ご迷惑をおかけして申し訳ない。成羽中学校は緊急避難場所にも指定されているので、進入路の整備は必要なことである。用地の確保、ルートを選定も含めて協議していきたい。また、落合町福地側から大型車が進入できるよう計画している。  
この夏の大雨は市内に3億7千万円もの被害をもたらした。質問された道路は2月末の復旧予定である。

◎スポーツが好きで、熱心に部活動などに取り組んでいる。今年の夏は、元プロ野球選手に野球の指導を受けるイベントに参加し、貴重な経験ができた。自分の学校は参加できなかったが、バレーボールのシーガルズを招いての講習会もあった。このような機会を今後もつくっていただきたい。

前原 史哉 議員（川上）



**教育長** 今後もバレーボールVプレミアリーグの試合や、来年には自転車のヒルクライムレースも予定している。  
トップアスリートは、人格的にも優れた人が多く、学ぶべき点が多い。今後も積極的に参加していただき自分を高めてほしい。